

会 議 等 結 果 記 録

会 議 名	西和賀町まちづくり基本条例をつくる会第7回全体会
日 時	平成21年11月20日（金） 午後6時30分から同8時25分まで
場 所	西和賀町役場湯田庁舎 3階 大会議室
出 席 者	<p>会員 11 人 刈田敏、黒渕淳一、佐々木浩輔、菅原彰、高橋清一郎、高橋浩幸、高橋渉、淀川豊、湯沢正、高橋智、平藤節夫</p> <p>事務局 3 人 菊地浩記主幹、畠山幸雄副主幹兼グループリーダー、石川茅主任</p>
結果概要	<p>1 前回の確認とワークショップの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のまとめは資料にして配布した。 ・ ワークショップの進め方について次のとおりとする。 <p style="padding-left: 2em;">2 班とも同じテーマについて話しあう。</p> <p style="padding-left: 2em;">解決策は複数のテーマに重複する場合もあるので、まずは課題抽出をする。</p> <p>2 ワークショップ（しゃべり場）</p> <p style="padding-left: 2em;">「保健、医療、福祉」をテーマに、KJ法により「充足・プラス面」及び「不足・マイナス面」について意見交換し、全体発表をした。</p> <p>【報告内容】</p> <p>A 班 （充足・プラス面）</p> <p style="padding-left: 2em;">福祉・医療施設は充実している、生命尊重の理念・結いの精神・保健活動への住民意識・隣近所の付き合いなど住民意識がある、高齢化比率が高いが高齢者は元気、横手・北上・盛岡へ1時間以内で行けるので緊急時対応は便利、水洗化率高く衛生面進んでいる、町の歴史や今の取組みが映画化されている、など</p> <p style="padding-left: 2em;">（不足・マイナス面）</p> <p style="padding-left: 2em;">国保財政基盤弱い、住民への財政負担が大きい、沢内病院の老朽化、住民の保健活動への理解が不足、町の統一方針感じられない、町の規模からの問題、施設の問題、沢内病院と民間医療機関の連携不足、住民の意識の問題など</p> <p style="padding-left: 2em;">⇒A班では「めざすべき方向性」も議論</p> <p>B 班 （充足・プラス面）</p> <p style="padding-left: 2em;">生命尊重の理念、福祉先進地のイメージ、沢内病院での救急対応、人間ドックなど検診の充実、民間医療機関の充実、福祉施設の充実、地域の近所づきあい、など</p> <p style="padding-left: 2em;">（不足・マイナス面）</p> <p style="padding-left: 2em;">沢内病院の医師の確保など医療サービスの不安定さが赤字を生んでいる、高度医</p>

療を受けるには遠くに行く必要がある、公共と民間の連携不足、住民の意識の低下、財政負担（個人も行政も）、高齢化が最大の原因、など

3 今後のスケジュール

2月ごろまでは課題の抽出を行い、今年度中にあと5回（第12回まで）全体会を開催する方針を確認した。

2月にはシンポジウムを開催することを報告した。

4 その他

10月25日に花巻市で開催されたまちづくり基本条例から地方自治を考えるシンポジウムに高橋代表が参加した旨、新聞記事により紹介した。

5 次回日程

12月8日（水）又は9日（木）とし、後日事務局から連絡することとした。